

新小岩公園再整備事業 説明会通信 vol.1

R4年度

日頃から、葛飾区のまちづくりにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、新小岩公園の再整備については、令和3年7月に基本計画を策定した後、概略設計を実施し、今年度は基本設計に取り組んでいます。基本設計を進めていくにあたり、施設や植栽等についての方針をご報告し、ご意見を賜るため、以下のとおり第4回説明会を開催しました。説明会には18名の地域の方にご参加いただき意見交換を行いました。

01 開催概要

日時・場所 日時：令和4年11月21日(月) 19:00～20:30
場所：新小岩地区センター4階ホール

- 説明会の流れ**
1. これまでの振り返り
 2. 基本設計コンセプト
 3. ゾーニング
 4. 全体配置計画及び各施設
 5. 植栽計画
 6. 屋内施設
 7. 今後のスケジュール
 8. 質疑応答



説明会の様子

02 基本設計コンセプト

未来志向の公園づくり

まちを守り、まちに愛され、まちを育む

—— まちのシンボルとなる公園 ——

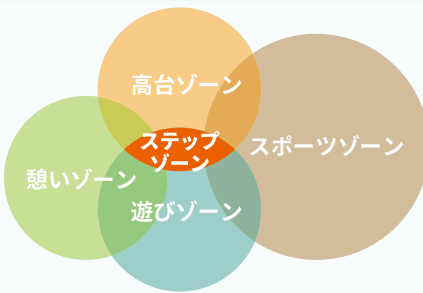
- 整備方針**
- 守** 防災機能の強化
 - 愛** 憩い・賑わい空間の創出
 - 育** まちと共に発展

整備方針の取り組みや新小岩エリアの地域性や風土などを取り入れることにより、地域住民の拠り所として「誇り」や「愛着」を創出し、「まちのシンボルとなる公園」とします。

03 ゾーニング



基本計画時の図面



基本計画時の図面から4つのゾーンを抽出し、各ゾーンが重なるエリアを「ステップゾーン」として、公園の中心に位置し、各ゾーンをつなげる重要な要素として位置づけます。

04 主なご意見と回答

Q 和楽亭のような施設ができるのか？

A 屋内施設内に賑わいを創出するため、屋外を眺望できる空間や飲食施設ができると良いが、運営方法や収益性も含めて検討していきます。

Q 喫煙所、ゴミ箱を廃止してほしい

A 喫煙所は、喫煙、禁煙両者の声を聞き、検討していきます。ゴミ箱についても設置の有無を今後検討していきます。

Q 背もたれのあるベンチや日陰を多くつくってほしい。

A 所々に屋根付きの休憩所を設置する予定です。木陰などへのベンチの配置や暑い時期への対応について十分に配慮して、今後検討していきます。

Q いつ頃、完成するのか？

A 実施設計を令和5、6年度に予定しており、引き続き工事着手したいと考えていますが、東京都との連携が重要ですので、現時点では明確な予定をお伝えすることができません。なお、2期に分けての工事を予定しており、1期では東側の多目的スポーツ広場から着手し、先行して供用開始します。2期では高台等の西側を整備しますが、基盤整備に時間がかかることを想定しています。

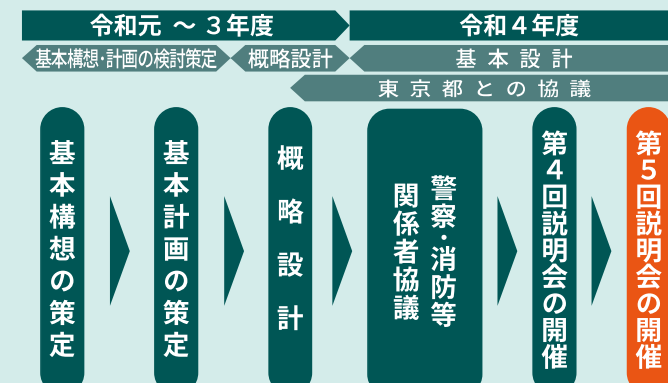
Q 東京都との関係はどのようになっているか？

A 東京都が計画している堤防の強化と合わせて、公園内に高台を整備することで、多様な災害に対応できるようにしています。今後も継続的に連携を図っていきます。

Q 大人にも子どもにも素晴らしい計画だと思う。みんなの意見を一つひとつ聞いて事業を進めていくことができるのは素晴らしい。

A この公園が街の魅力、地域の資源として実現できるように進めていきます。

05 今後のスケジュール



第5回説明会のご案内

第5回説明会は、以下のとおり開催予定です。詳細が決まりましたら再度、皆様にお知らせいたしますので、ぜひご参加願います。

- 日時** 令和5年2月下旬ごろ午後7時～8時(予定)
- 場所** 未定
- テーマ** 基本設計(案)について

説明会の資料や意見交換内容等は、葛飾区のホームページにも掲載しています。

葛飾区公式サイト：[トップページ](#)▷[くらしのガイド](#)▷[住まい・くらし](#)▷[公園](#)▷第4回新小岩公園再整備事業説明会

アドレス：<http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000059/1003408/1030604.html>



葛飾区都市整備部公園課建設係
担当 大石・鍋木・清藤・中島
連絡先 03-3695-8385



高台ゾーン

浸水災害時は応急活動拠点となり、平常時は様々なレクリエーションやイベントに利用できる敷地北西側のゾーンです。

エントランス広場

- ・北西ゲートからのシンボル空間
- ・舗装による各種イベントへの対応
- ・受援活動時の車両転回スペース



エントランス広場のイメージ

高台広場

- ・フレキシブルに対応できる原っぱ空間
- ・バドミントンやキャッチボールなどレクリエーションの場
- ・受援活動時の各機関活動スペース



高台広場のイメージ

ゲートボール広場

- ・ゲートボールに対応したダスト舗装
- ・受援活動時のヘリポート



パーゴラ(防災対応)のイメージ

パーゴラ(防災対応)

- ・高台広場、ゲートボール活動の休憩スペース
- ・受援活動時のテント

憩いゾーン

緑豊かな空間でくつろいだり、散歩したりできる敷地南西側のゾーンです。

斜面広場

- ・斜面に合わせた休憩空間
- ・樹木を配置し緑陰空間を創出
- ・登るにつれ、景色が変化する
- ・遊具や小規模スポーツ、電車を眺めることができる
- ・中町ゲート付近から高台広場への散策ルート



斜面広場のイメージ

緑陰の憩い空間

- ・既存樹や新植する樹木による緑陰空間
- ・レジャーシートやシェードテント等を置くことができる場



緑陰の憩い空間のイメージ

森の散策路

- ・樹林の散策ができる自然豊かなエリア
- ・南西ゲートと接続



森の散策路のイメージ

屋内施設

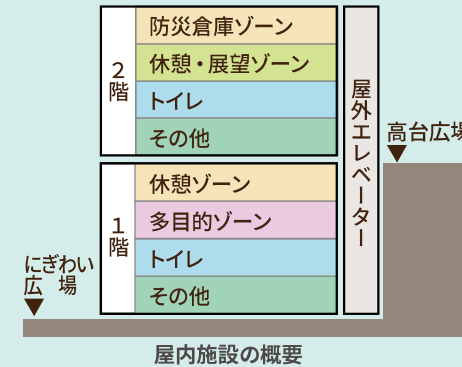
防災機能とともに、平常時の賑わいを創出する機能を導入します。

6つのカテゴリー(機能)

- ① 憩い・賑わい
- ② ユニバーサルデザイン
- ③ 子育て
- ④ フレキシブルな利用
- ⑤ 防災
- ⑥ まちづくりとの連携



屋内施設のイメージ



ステップゾーン(大階段)

- ・スポーツの観覧席・家族連れの休憩
- ・イベント時の客席・水景の鑑賞
- ・浸水時の船着場 など、様々な活動に対応できる階段状の空間です。



大階段のイメージ

植栽計画

緑の資産を次世代へ継承し、四季の移ろいを感じられる植栽計画を行います。

既存樹の整備方針

- ・既存樹の保存及び移植による記憶の継承と憩い空間の創出
- ・サクラの更新による「桜の名所」の継承



大きく育ったケヤキ

新植の整備方針

- ・花や紅葉など季節ごとに魅力のある樹種の選定
- ・環境変化への耐性が高い樹種の選定
- ・維持管理の容易さへの配慮



現況のサクラ並木

スポーツゾーン

多目的スポーツ広場を中心とした敷地東側のゾーンです。南側には 3x3 コート、スケートボードエリア、フットサルコートを設置します。

多目的スポーツ広場

- ・野球場 2面を配置できる広さ
- ・天然芝(外野)+土(内野)
- ・雨水一時貯留機能



多目的スポーツ広場のイメージ

観覧席

- ・南北2つの球場それぞれの1塁側、3塁側に屋根のある観覧席、応援スペースを配置



観覧席のイメージ

にぎわいデッキ

- ・多目的スポーツ広場側に腰掛けてスポーツを眺めることができるデッキ
- ・じゃぶじゃぶ池やアスレチック遊具などで遊ぶ子どもを見守ることもできる
- ・イベント時の休憩スペースとしても活用



にぎわいデッキのイメージ

遊びゾーン

斜面を利用した遊具や幼児遊具、アスレチック遊具、じゃぶじゃぶ池を配置し、子どもたちが元気に遊ぶことができるゾーンです。

斜面遊具

- ・約5mの高低差のある斜面を活かした遊具を設置



斜面遊具のイメージ

幼児遊具エリア

- ・既存ケヤキの緑陰を活かした低年齢を対象とした遊具を配置
- ・児童との衝突防止など安全面に配慮



幼児遊具エリアのイメージ

アスレチック遊具

- ・児童を対象としたアスレチック遊具を樹林内に配置



アスレチック遊具のイメージ

じゃぶじゃぶ池

- ・夏の遊び場として遊びゾーンに配置
- ・舗装と地続きとし、夏以外は広場としても活用



じゃぶじゃぶ池のイメージ